BRILLIANTMISTAKE

ブリリアント・ミステイク

「輝かしい間違い！」インパクトのあるワイナリー名＆シンプルかつ印象的なボトル。ウィットを込めてスタイリッシュに造り上げるナパの注目株

ジョン＆ステイシー・ライナート夫妻が2013VTGより創業。3年目の2017年プレミア・ナパ・オークションにて15VTGが高額落札。（$30,000/60本＝1本約5万円！）「なぜ3年目にして、このロケット・スタートは？」と各ワインメディアも驚く。どんなワインを造りたいか確固たる信念を固め（他にない個性を持ったプレミアム・ワインを造ること）、素晴らしい畑から葡萄を調達（難しい上に高額）。　ワインメーカーにはフィリップ・メルカの片腕「メイヤン・コスチスキ」が辣腕を振るう。ブリリアント・ミステイクという個性的で、誰もが忘れないブランド・ネーム。ラベル無しという印象的なパッケージ。ナパ・ヴァレーの銘醸畑から人脈を駆使して最高級のワインを造る。

brilliant mistake

限定品

商品写真	商品名	AVA	タイプ	年	容量(ml)	希望小売価格	摘要
	Sauvignon Blanc Napa Valley ソーヴィニヨン・ブラン　ナパ・ヴァレー	Napa Valley	白	2022	750	¥14,000	
	Sauvignon Blanc 100%　仏産樽発酵・熟成10ヶ月（新樽50%）契約で畑名を明らかにできないがソーヴィニヨン・ブランとしては珍しいオークヴィルの優良栽培家の葡萄。爽快で綺麗な酸、口当たりはとろりとした印象。樽発酵・熟成から来るブリオッシュやバニラがアタックにあり、メイヤーレモン、和梨、白桃、ライムの葉、グレープフルーツの皮が鮮烈に香る。瑞々しい梨、パイナップル、甘酸っぱい柑橘類が広がる。ボトルが印象的。						
	Cabernet Sauvignon Napa Valley カベルネ・ソーヴィニヨン　ナパ・ヴァレー	Napa Valley	赤	2019 2021	750	¥32,000 ¥35,000	19)Parker Point 95P 新21VTG　価格改定
	19)Cabernet Sauvignon 97%, Petit Verdot 3% 仏産樽熟成22ヶ月（新樽65%、1年使い35%）　オークヴィル、ラザフォード、セント・ヘレナ、プリチャード・ヒルの畑をヴィンテージ毎にセレクト。契約で畑名を明らかにできないが、ナパ・ヴァレーの選び抜かれた最良畑・最良の葡萄のブレンドと言える。2019年はラザフォードとセント・ヘレナのブレンド。リッチでパワフル。口当たりはスムースで細かくこなれている。過熟でなく、うまく酸とのバランスも取れている。21)CS 100%						
	g3　Cabernet Sauvignon Napa Valley ジー・スリー　カベルネ・ソーヴィニヨン　ナパ・ヴァレー	Napa Valley	赤	2019 2021	750	¥42,000 ¥44,000	限定数入荷 19)Jeb Dunnuck 97P 新21VTG　価格改定　JD98P
	Cabernet Sauvignon 100% 仏産樽熟成21ヶ月（新樽80%）g3＝Beckstoffer Vineyard　Georges the Thirdラザフォードにある歴史的な畑。ボーリューのジョルジュ・ド・ラトゥールが1928年に購入、名手アンドレ・チェリチェフが造りボーリューの黄金時代に貢献した畑。1988年にベクストファーが購入後、最新技術で改植。リッチでフルボディ、濃縮された味わい、シルキーなタンニン、果実のピュアさとエレガンスを内包						
	"Poet＆Muse" Cabernet Sauvignon Reserve Napa Valley 「ポエット＆ミューズ」カベルネ・ソーヴィニヨン リザーブ ナパ・ヴァレー	Napa Valley	赤	2019	750	¥46,000	限定数入荷 Jeb Dunnuck 98P
	Cabernet Sauvignon 100% 仏産樽熟成26か月（新樽100%）　契約で畑名を明らかにできないが、ナパ・ヴァレーの最良畑・最良葡萄であり、ブリリアント・ミステイクのトップ・キュヴェ、2019VTGはセント・ヘレナとラザフォードの畑。力強くリッチで骨太の味わいに、瑞々しい果実と滑らかな口当たり、秀逸な酸をしっかりと内包している。新進気鋭のナパ在住アーティストとのコラボ・ボトル。						

brilliant mistake wines

ブリリアント・ミステイク

（直訳：華麗なる間違い、イギリスのミュージシャン・エルビス・コステロの曲で有名）

いつも問われる次のナパ・ヴァレー・カルトの新鋭は？
オーナーの個性は？　畑はどこ？　ワインメーカーは？

オーナー

ジョン＆ステイシー・ライナート夫妻が始めたプロジェクト。ファースト・ヴィンテージは 2013 年。2017 年当時 3 年目のワインながら、プレミア・ナパ・ヴァレー・オークションにて 2015VTG が高額落札された。（$30,000/60 本＝1 本約 5 万円！！）　「なぜ 3 年目にして、このロケット・スタートは？」と各ワインメディアも驚く。

オーナーのジョンはフィラデルフィア出身、カリフォルニアにはミュージシャンになる為に移住、その後は別の職業で財を成し、妻ステイシーとサンフランシスコ・ベイエリアに住みながら、セカンド・ハウスとしてヨントヴィルにも住み、ナパ・ヴァレーでワインと食を楽しんでいたが、様々なワイン・イベントに参加しながら、多くのワイン・オーナーやワインメーカーと知り合いになり、ワイン造りへの情熱が高まっていく。その時に知り合い、素晴らしいアドバイスをしてくれたのが、レアムのホアン・メルカードや、トーマス・リヴァース・ブラウンだったという。そこから彼らは教えに従い、どんなワインを造りたいか確固たる信念を固め（他にない個性を持ったプレミアム・ワインを造ること）、素晴らしい畑から葡萄を調達し（難しい上に高額）、素晴らしいワインメーカーと契約してワインの世界に飛び込んだ。

進化はまだまだ止まらない。2021 年は更に新しいラインナップ、リザーヴとシングル・ヴィンヤードを繰り出す。

ブランド＆パッケージ

ブリリアント・ミステイクという個性的で、誰もが忘れないブランド・ネームを付け、さあ印象的なラベルは何がいいだろう？という時に、妻ステイシーからのアドバイスは「一度決めてしまうと、もうすぐには変えられない。いっその事、ラベルは無しにしたら？」逆転の発想から、誰も忘れない印象的なパッケージが完成した。

オーナーのジョン＆ステイシー・ライナート夫妻

ワインメーカーのメイヤン・コスチスキ

畑：ナパ・ヴァレー銘醸地

ヴィンテージにより、オークヴィル ラザフォード、プリチャード・ヒル セント・ヘレナの類い稀なる畑の葡萄を調達する信用と人間関係を構築。

ファースト・ヴィンテージ 2013 年とセカンドはスタッグス・リープ・ディストリクツとラザフォードの葡萄を調達して作り、その評判により、早くもサード・ヴィンテージの 2015VTG からナパ・ヴァレーの中で誰もがうらやむ、ベクストファー・ヴィンヤーズの 3 つの畑から調達するという離れ業をやってのけた。その後は畑名の表明は無くなったがそれに類する驚くべき畑の調達が出来るようになったのはワインの実力が認められたゆえ、今後もその調達力が冴えわたる

ワインメーカー

Maayan Koschitzky メイヤン・コスチスキ

ダラ・ヴァレ、スクリーミング・イーグルなどで経験を積み、現在「アトリエ・メルカ」フィリップ・メルカのワインコンサルタント・ワインメイキーング・チームのディレクターを務める敏腕ワインメーカー。クライアントの要望に沿ったワイン造りに定評がある。フィリップ・メルカの片腕。

Sauvignon Blanc
Napa Valley 2022
ソーヴィニヨ・ブラン　ナパ・ヴァレー

希望小売価格（税別）14，000円

品種： ソーヴィニヨン・ブラン 100%

畑： 契約で畑名を明らかにできないとのことながら、ソーヴィニヨン・ブランとしては珍しいオークヴィルのナパ・ヴァレー屈指の優良栽培家の葡萄が選び抜かれている。オーナーのこだわりとアトリエ・メルカ・コネクションによる。

醸造： 仏産樽発酵・熟成約 10 ヶ月（新樽約半分 50%）

味わい： 一言で言うと「卓越した他には無い」仕上がり。爽快で綺麗な酸、口当たりはとろりとした印象。100%樽発酵・熟成から来るブリオッシュやバニラがアタックにあり、メイヤーレモン、和梨、白桃、ライムの葉、グレープフルーツの皮が鮮烈に香る。味わいは、ジューシーで瑞々しい梨、パイナップル、甘酸っぱい柑橘類が広がり、グレープフルーツの香りが長い余韻へと続く。現在も美しい味わいながら、骨格と複雑さを備えており、将来的にも優雅に楽しむことができる。生産量約 100 ｹｰｽのみ。

brilliant mistake wines

ブリリアント・ミステイク

（直訳：華麗なる間違い、イギリスのミュージシャン・エルビス・コステロの曲で有名）

いつも問われる次のナパ・ヴァレー・カルトの新鋭は？
オーナーの個性は？　畑はどこ？　ワインメーカーは？

オーナー

ジョン&ステイシー・ライナート夫妻が始めたプロジェクト。ファースト・ヴィンテージは 2013 年。2017 年当時 3 年目のワインながら、プレミア・ナパ・ヴァレー・オークションにて 2015VTG が高額落札された。（$30,000/60 本＝1 本約 5 万円！！）　「なぜ 3 年目にして、このロケット・スタートは？」と各ワインメディアも驚く。

オーナーのジョン&ステイシー・ライナート夫妻

オーナーのジョンはフィラデルフィア出身、カリフォルニアにはミュージシャンになる為に移住、その後は別の職業で財を成し、妻ステイシーとサンフランシスコ・ベイエリアに住みながら、セカンド・ハウスとしてヨントヴィルにも住み、ナパ・ヴァレーでワインと食を楽しんでいたが、様々なワイン・イベントに参加しながら、多くのワイン・オーナーやワインメーカーと知り合いになり、ワイン造りへの情熱が高まっていく。その時に知り合い、素晴らしいアドバイスをしてくれたのが、レアムのホアン・メルカードや、トーマス・リヴァース・ブラウンだったという。そこから彼らは教えに従い、どんなワインを造りたいか確固たる信念を固め（他にない個性を持ったプレミアム・ワインを造ること）、素晴らしい畑から葡萄を調達し（難しい上に高額）、素晴らしいワインメーカーと契約してワインの世界に飛び込んだ。

進化はまだまだ止まらない。2021 年は更に新しいラインナップ、リザーヴとシングル・ヴィンヤードを繰り出す。

ブランド&パッケージ

ブリリアント・ミステイクという個性的で、誰もが忘れないブランド・ネームを付け、さあ印象的なラベルは何がいいだろう？という時に、妻ステイシーからのアドバイスは「一度決めてしまうと、もうすぐには変えられない。いっその事、ラベルは無しにしたら？」逆転の発想から、誰も忘れない印象的なパッケージが完成した。

ワインメーカーのメイヤン・コスチスキ

畑：ナパ・ヴァレー銘醸地

ヴィンテージにより、オークヴィル ラザフォード、プリチャード・ヒル セント・ヘレナの類い稀なる畑の葡萄を調達する信用と人間関係を構築。

ファースト・ヴィンテージ 2013 年とセカンドは、スタッグス・リープ・ディストリクツとラザフォードの葡萄を調達して作り、その評判により、早くもサード・ヴィンテージの 2015VTG からナパ・ヴァレーの中で誰もがうらやむ、ベクストファー・ヴィンヤーズの 3 つの畑から調達するという離れ業をやってのけた。その後は畑名の表明は無くなったがそれに類する驚くべき畑の調達が出来るようになったのはワインの実力が認められたゆえ、今後もその調達力が冴えわたる

ワインメーカー

Maayan Koschitzky メイヤン・コスチスキ

ダラ・ヴァレ、スクリーミング・イーグルなどで経験を積み、現在「アトリエ・メルカ」フィリップ・メルカのワインコンサルタント・ワインメイキーング・チームのディレクターを務める敏腕ワインメーカー。クライアントの要望に沿ったワイン造りに定評がある。フィリップ・メルカの片腕。

Cabernet Sauvignon Napa Valley 2019

カベルネ・ソーヴィニヨン　ナパ・ヴァレー

希望小売価格(税別) **32，000円**

品種： カベルネ・ソーヴィニヨン 97%
プティ・ヴェルド 3%

畑： 契約で畑名を明らかにできないとのことながら、2019VTG はラザフォードとセント・ヘレナ、二つのナパ・ヴァレー屈指の地区の最優良栽培家の葡萄が選び抜かれ、ブレンドされている。オーナーのこだわりとアトリエ・メルカ・コネクション。

醸造： 仏産樽熟成約 22 ヶ月（新樽約 65%）

味わい： 深みのある紅紫色、リッチでフルボディ、素晴らしい凝縮感。フレッシュな果実味とバランスの取れた酸があり、フィネスとエレガンスも合わせ持つ。香りにはクレーム・ド・カシス、葉巻、チョコレート、ハーブや黒系ベリーが溢れ、味わいにはカシスやプラムの濃厚さ、驚り高いエスプレッソが印象的。美しく構成されたワインで、濃厚なタンニンと幾重にも重なる複雑味が長い余韻をもたらす。ナパ・ヴァレーの個性が見事に表現されている。**パーカー95P Oct.2021 by Lisa**

輸入・販売　株式会社中川ワイン TEL:03-5829-8161　FAX:03-5829-6171

brilliant mistake wines

ブリリアント・ミステイク

（直訳：華麗なる間違い、イギリスのミュージシャン・エルビス・コステロの曲で有名）

いつも問われる次のナパ・ヴァレー・カルトの新鋭は？
オーナーの個性は？　畑はどこ？　ワインメーカーは？

オーナー

ジョン&ステイシー・ライナート夫妻が始めたプロジェクト。ファースト・ヴィンテージは2013年。2017年当時3年目のワインながら、プレミア・ナパ・ヴァレー・オークションにて2015VTGが高額落札された。（$30,000/60本＝1本約5万円！！）　「なぜ3年目にして、このロケット・スタートは？」と各ワインメディアも驚く。

オーナーのジョン&ステイシー・ライナート夫妻

オーナーのジョンはフィラデルフィア出身、カリフォルニアにはミュージシャンになる為に移住、その後は別の職業で財を成し、妻ステイシーとサンフランシスコ・ベイエリアに住みながら、セカンド・ハウスとしてヨントヴィルにも住み、ナパ・ヴァレーでワインと食を楽しんでいたが、様々なワイン・イベントに参加しながら、多くのワイン・オーナーやワインメーカーと知り合いになり、ワイン造りへの情熱が高まっていく。その時に知り合い、素晴らしいアドバイスをしてくれたのが、レアムのホアン・メルカードや、トーマス・リヴァース・ブラウンだったという。そこから彼らは教えに従い、どんなワインを造りたいか確固たる信念を固め（他にない個性を持ったプレミアム・ワインを造ること）、素晴らしい畑から葡萄を調達し（難しい上に高額）、素晴らしいワインメーカーと契約してワインの世界に飛び込んだ。

進化はまだまだ止まらない。2021年は更に新しいラインナップ、リザーヴとシングル・ヴィンヤードを繰り出す。

ブランド&パッケージ

ブリリアント・ミステイクという個性的で、誰もが忘れないブランド・ネームを付け、さあ印象的なラベルは何がいいだろう？という時に、妻ステイシーからのアドバイスは「一度決めてしまうと、もうすぐには変えられない。いっその事、ラベルは無しにしたら？」逆転の発想から、誰も忘れない印象的なパッケージが完成した。

ワインメーカーのメイヤン・コスチスキ

畑：ナパ・ヴァレー銘醸地

ヴィンテージにより、オークヴィル ラザフォード、ブリチャード・ヒル セント・ヘレナの類い稀なる畑の葡萄を調達する信用と人間関係を構築。

ファースト・ヴィンテージ2013年とセカンドは、スタッグス・リープ・ディストリクツとラザフォードの葡萄を調達して作り、その評判により、早くもサード・ヴィンテージの2015VTGからナパ・ヴァレーの中で誰もがうらやむ、ベクストファー・ヴィンヤーズの3つの畑から調達するという離れ業をやってのけた。その後は畑名の表明は無くなったがそれに類する驚くべき畑の調達が出来るようになったのはワインの実力が認められたゆえ、今後もその調達力が冴えわたる

ワインメーカー

Maayan Koschitzky メイヤン・コスチスキ

ダラ・ヴァレ、スクリーミング・イーグルなどで経験を積み、現在「アトリエ・メルカ」フィリップ・メルカのワインコンサルタント・ワインメイキーング・チームのディレクターを務める敏腕ワインメーカー。クライアントの要望に沿ったワイン造りに定評がある。フィリップ・メルカの片腕。

Cabernet Sauvignon
Napa Valley 2021

カベルネ・ソーヴィニヨン　ナパ・ヴァレー

希望小売価格（税別）35，000円

品種：カベルネ・ソーヴィニヨン100%

畑：契約で畑名を明らかにできないとのことながら、2021VTGはラザフォードとオークヴィル。二つのナパ・ヴァレー屈指の地区の最優良栽培家の葡萄が選び抜かれ、ブレンドされている。オーナーのこだわりとアトリエ・メルカ・コネクション。

醸造：仏産樽熟成約2年（新樽約70%）

味わい：深みのある紅紫色、リッチでフルボディ、素晴らしい凝縮感。フレッシュな果実味とバランスの取れた酸があり、フィネスとエレガンスも合わせ持つ。香りにはクレーム・ド・カシス、葉巻、チョコレート、ハーブや黒系ベリーが溢れ、味わいにはカシスやプラムの濃厚さ、薫り高いエスプレッソが印象的。美しく構成されたワインで、濃厚なタンニンと幾重にも重なる複雑味が長い余韻をもたらす。ナパ・ヴァレーの個性が見事に表現されている。　**パーカー93P Feb.2024**

by Joe Czerwinski

輸入・販売　株式会社中川ワイン TEL:03-5829-8161　FAX:03-5829-6171

brilliant mistake wines

ブリリアント・ミステイク

（直訳：華麗なる間違い、イギリスのミュージシャン・エルビス・コステロの曲で有名）

いつも問われる次のナパ・ヴァレー・カルトの新鋭は？

オーナーの個性は？　畑はどこ？　ワインメーカーは？

オーナー

ジョン＆ステイシー・ライナート夫妻が始めたプロジェクト。ファースト・ヴィンテージは 2013 年。2017 年当時 3 年目のワインながら、プレミア・ナパ・ヴァレー・オークションにて 2015VTG が高額落札された。（$30,000/60 本＝1 本約 5 万円！！）　「なぜ 3 年目にして、このロケット・スタートは？」と各ワインメディアも驚く。

オーナーのジョンはフィラデルフィア出身、カリフォルニアにはミュージシャンになる為に移住、その後は別の職業で財を成し、妻ステイシーとサンフランシスコ・ベイエリアに住みながら、セカンド・ハウスとしてヨントヴィルにも住み、ナパ・ヴァレーでワインと食を楽しんでいたが、様々なワイン・イベントに参加しながら、多くのワイン・オーナーやワインメーカーと知り合いになり、ワイン造りへの情熱が高まっていく。その時に知り合い、素晴らしいアドバイスをしてくれたのが、レアムのホアン・メルカードや、トーマス・リヴァース・ブラウンだったという。そこから彼らは教えに従い、どんなワインを造りたいか確固たる信念を固め（他にない個性を持ったプレミアム・ワインを造ること）、素晴らしい畑から葡萄を調達し（難しい上に高額）、素晴らしいワインメーカーと契約してワインの世界に飛び込んだ。

進化はまだまだ止まらない。2021 年は更に新しいラインナップ、リザーヴとシングル・ヴィンヤードを繰り出す。

ブランド＆パッケージ

ブリリアント・ミステイクという個性的で、誰もが忘れないブランド・ネームを付け、さあ印象的なラベルは何がいいだろう？という時に、妻ステイシーからのアドバイスは「一度決めてしまうと、もうすぐには変えられない。いっその事、ラベルは無しにしたら？」逆転の発想から、誰も忘れない印象的なパッケージが完成した。

オーナーのジョン＆ステイシー・ライナート夫妻

ワインメーカーのメイヤン・コスチスキ

畑：ナパ・ヴァレー銘醸地

ヴィンテージにより、オークヴィル ラザフォード、プリチャード・ヒル セント・ヘレナの類い稀なる畑の葡萄を調達する信用と人間関係を構築。

ファースト・ヴィンテージ 2013 年とセカンドは、スタッグス・リープ・ディストリクツとラザフォードの葡萄を調達して作り、その評判により、早くもサード・ヴィンテージの 2015VTG からナパ・ヴァレーの中で誰もがうらやむ、ベクストファー・ヴィンヤーズの 3 つの畑から調達するという離れ業をやってのけた。その後は畑名の表明は無くなったがそれに類する驚くべき畑の調達が出来るようになったのはワインの実力が認められたゆえ、今後もその調達力が冴えわたる

ワインメーカー

Maayan Koschitzky メイヤン・コスチスキ

ダラ・ヴァレ、スクリーミング・イーグルなどで経験を積み、現在「アトリエ・メルカ」フィリップ・メルカのワインコンサルタント・ワインメイキーング・チームのディレクターを務める敏腕ワインメーカー。クライアントの要望に沿ったワイン造りに定評がある。フィリップ・メルカの片腕。

g3 Cabernet Sauvignon Napa Valley 2019

g3 カベルネ・ソーヴィニヨン　ナパ・ヴァレー

希望小売価格（税別）42，000円

品種： カベルネ・ソーヴィニヨン 100%

畑：g3＝Beckstoffer Vineyard Georges the Third ラザフォードにある歴史的な畑。1895 年にトーマス・ラザフォードが植樹した 120 ㌶の畑で、ボーリューのジョルジュ・ド・ラトゥールが 1928 年に購入、名手アンドレ・チェリチェフの手で 1960-70 年代にかけてボーリューの黄金時代に貢献した畑。1988 年にベクストファー家が購入後、最新技術で改植。ブリリアント・ミステイクのシングル・ヴィンヤードとして人気を誇る。生産量 100 ケースのみ

醸造： 仏産樽熟成 21 ヶ月（新樽 80%）

味わい： ナパ・ヴァレーの中央・やや東のベンチ・ランドに位置する川床だった土壌は砂利や岩が混じり、驚くほど凝縮した果実を生み出すのが特徴です。濃い紫がかった深紅色、クレーム・ド・カシス、ブルーベリー、ブラックチェリーの印象が強く、じわじわと紅茶、森林の土、砕いた岩のニュアンスが出てくる。リッチでフルボディ、濃縮された味わい、シルキーなタンニン、果実のピュアさとエレガンスを内包し、長く複雑な余韻。

100P International Wine Report
97P Jeb Dunnuk March 2022
96P Wine Advocate by Lisa Perrotti-Brown

brilliant mistake wines

ブリリアント・ミステイク

（直訳：華麗なる間違い、イギリスのミュージシャン・エルビス・コステロの曲で有名）

いつも問われる次のナパ・ヴァレー・カルトの新鋭は？
オーナーの個性は？　畑はどこ？　ワインメーカーは？

オーナー

ジョン＆ステイシー・ライナート夫妻が始めたプロジェクト。ファースト・ヴィンテージは 2013 年。2017 年当時 3 年目のワインながら、プレミア・ナパ・ヴァレー・オークションにて 2015VTG が高額落札された。（$30,000/60 本＝1 本約 5 万円！！）　「なぜ 3 年目にして、このロケット・スタートは？」と各ワインメディアも驚く。

オーナーのジョンはフィラデルフィア出身、カリフォルニアにはミュージシャンになる為に移住、その後は別の職業で財を成し、妻ステイシーとサンフランシスコ・ベイエリアに住みながら、セカンド・ハウスとしてヨントヴィルにも住み、ナパ・ヴァレーでワインと食を楽しんでいたが、様々なワイン・イベントに参加しながら、多くのワイン・オーナーやワインメーカーと知り合いになり、ワイン造りへの情熱が高まっていく。その時に知り合い、素晴らしいアドバイスをしてくれたのが、レアムのホアン・メルカードや、トーマス・リヴァース・ブラウンだったという。そこから彼らは教えに従い、どんなワインを造りたいか確固たる信念を固め（他にない個性を持ったプレミアム・ワインを造ること）、素晴らしい畑から葡萄を調達し（難しい上に高額）、素晴らしいワインメーカーと契約してワインの世界に飛び込んだ。

進化はまだまだ止まらない。2021 年は更に新しいラインナップ、リザーヴとシングル・ヴィンヤードを繰り出す。

ブランド＆パッケージ

ブリリアント・ミステイクという個性的で、誰もが忘れないブランド・ネームを付け、さあ印象的なラベルは何がいいだろう？という時に、妻ステイシーからのアドバイスは「一度決めてしまうと、もうすぐには変えられない。いっそのその事、ラベルは無しにしたら？」逆転の発想から、誰も忘れない印象的なパッケージが完成した。

オーナーのジョン＆ステイシー・ライナート夫妻

ワインメーカーのメイヤン・コスチスキ

畑：ナパ・ヴァレー銘醸地

ヴィンテージにより、オークヴィル ラザフォード、プリチャード・ヒル セント・ヘレナの類い稀なる畑の葡萄を調達する信用と人間関係を構築。

ファースト・ヴィンテージ 2013 年とセカンドは、スタッグス・リープ・ディストリクツとラザフォードの葡萄を調達して作り、その評判により、早くもサード・ヴィンテージの 2015VTG からナパ・ヴァレーの中で誰もがうらやむ、ベクストファー・ヴィンヤーズの 3 つの畑から調達するという離れ業をやってのけた。その後は畑名の表明は無くなったがそれに類する驚くべき畑の調達が出来るようになったのはワインの実力が認められたゆえ、今後もその調達力が冴えわたる

ワインメーカー

Maayan Koschitzky メイヤン・コスチスキ
ダラ・ヴァレ、スクリーミング・イーグルなどで経験を積み、現在「アトリエ・メルカ」フィリップ・メルカのワインコンサルタント・ワインメイキーング・チームのディレクターを務める敏腕ワインメーカー。クライアントの要望に沿ったワイン造りに定評がある。フィリップ・メルカの片腕。

g3 Cabernet Sauvignon Napa Valley 2021

g3カベルネ・ソーヴィニヨン　ナパ・ヴァレー

希望小売価格（税別）44，000円

品種：カベルネ・ソーヴィニヨン 100%

畑：g3＝Beckstoffer Vineyard Georges the Third ラザフォードにある歴史的な畑。1895 年にトーマス・ラザフォードが植樹した 120 ㌶の畑で、ボーリューのジョルジュ・ド・ラトゥールが 1928 年に購入、名手アンドレ・チェリチェフの手で 1960-70 年代にかけてボーリューの黄金時代に貢献した畑。1988 年にベクストファー家が購入後、最新技術で改植。ブリリアント・ミステイクのシングル・ヴィンヤードとして人気を誇る。生産量約 100 ケースのみ

醸造：仏産樽熟成 21 ヶ月（新樽 80%）

味わい：ナパ・ヴァレーの中央・やや東のベンチ・ランドに位置する川床だった土壌は砂利や岩が混じり、驚くほど凝縮した果実を生み出すのが特徴です。濃い紫がかった深紅色、クレーム・ド・カシス、ブルーベリー、ブラックチェリーの印象が強く、じわじわと紅茶、森林の土、砕いた岩のニュアンスが出てくる。リッチでフルボディ、濃縮された味わい、シルキーなタンニン、果実のピュアさとエレガンスを内包し、長く複雑な余韻。

98P Jeb Dunnuk December 2023
97+P Parker Point/Wine Advocate Feb. 2024
By Joe Czerwinski

brilliant mistake wines

ブリリアント・ミステイク

（直訳：華麗なる間違い、イギリスのミュージシャン・エルビス・コステロの曲で有名）

ナパ・ヴァレー・カルトの新鋭と呼ばれて4年、
ひとつところに留まらず、常に進化していくオーナーのインスピレーションは止まらない

オーナーのジョン&ステイシー・ライナート夫妻

ワインメーカーのメイヤン・コスチスキ

オーナー　ジョン&ステイシー・ライナート夫妻が始めたプロジェクト。
ファースト・ヴィンテージは 2013 年。2017 年当時 3 年目のワインながら、プレミア・ナパ・ヴァレー・オークションにて 2015VTG が高額落札された。（$30,000/60 本＝1 本約 5 万円！！）「なぜ 3 年目にして、このロケット・スタートは？」と各ワインメディアも驚く。オーナーのジョンはフィラデルフィア出身、カリフォルニアにはミュージシャンになる為に移住、その後は別の職業で財を成し、妻ステイシーとサンフランシスコ・ベイエリアに住みながら、セカンド・ハウスとしてヨントヴィルにも住み、ナパ・ヴァレーでワインと食を楽しんでいたが、様々なワイン・イベントに参加しながら、多くのワイン・オーナーやワインメーカーと知り合いになり、ワイン造りへの情熱が高まっていく。その時に知り合い、素晴らしいアドバイスをしてくれたのが、レアムのホアン・メルカードや、トーマス・リヴァース・ブラウンだったという。そこから彼らは教えに従い、どんなワインを造りたいか確固たる信念を固め（他にない個性を持ったプレミアム・ワインを造ること）、素晴らしい畑から葡萄を調達し（難しい上に高額）、素晴らしいワインメーカーと契約してワインの世界に飛び込んだ。進化はまだまだ止まらない。2021 年は更に新しいラインナップ、リザーブとシングル・ヴィンヤードを繰り出す。

ブランド&パッケージ
ブリリアント・ミステイクという個性的で、誰もが忘れないブランド・ネームを付け、さあ印象的なラベルは何がいいだろう？という時に、妻ステイシーからのアドバイスは「一度決めてしまうと、もうすぐには変えられない。いっその事、ラベルは無しにしたら？」逆転の発想から、誰も忘れない印象的なパッケージが完成した。新しいワインには才能あふれるアーティストとのコラボレーション。

ワインメーカー　Maayan Koschitzky メイヤン・コスチスキ
ダラ・ヴァレ、スクリーミング・イーグルなどで経験を積み、現在フィリップ・メルカの「アトリエ・メルカ」（コンサルタント/ワインメイキーング・チーム）のディレクターを務める敏腕ワインメーカー。クライアントの要望に沿ったワイン造りに定評がある。フィリップ・メルカの片腕。

「ポエット ＆ ミューズ」　　カベルネ・ソーヴィニヨン リザーブ ナパ・ヴァレー

2019 “The Poet & The Muse” Cabernet Sauvignon Reserve Napa Valley

希望小売価格（税別）46，000円

品種：カベルネ・ソーヴィニヨン 100%
畑：ブリリアント・ミステイクとして造られる最高品質の樽をセレクトして究極のブレンドを施した。2019 年はセント・ヘレナとラザフォードの二つのナパ・ヴァレー屈指の地区の最優良栽培家の葡萄が選び抜かれた。畑名は非公開であるが、特級クラスの畑であることは間違いない。
醸造：仏産樽熟成 26 か月（新樽 100%）

味わい：色合いは深いガーネット・パープルで、香りにはクレーム・ド・カシス、プラムのジャム、ブルーベリーパイのニュアンスが力強く立ち上がる。更にポプリ、お香、微かなタバコの葉、杉の香りが漂う。味わいフルボディーで、張りがあり、筋肉質。口当たりは粒状の塊が感じられるようにパワフルで、きっちりと編まれたニットの様にきめがつまっている。黒系ベリーが満載で、美しい純度の高いフィニッシュにつながっていく。リリース仕立てでも、このワインの素晴らしさを実感できるので、是非躊躇せずにコルクを抜いてみてください。

ポエット＆ミューズの物語：真実の愛、創造性、そして 2 つの情熱的な魂から誕生したワイン。まさにジョンとステイシー・ライナート夫妻の物語。ジョンは詩人であり、ステイシーは彼の魅惑的なミューズ。二人とも芸術と音楽を愛し、ピアノを弾き、ギターを奏で、キャンバスに油絵の具やアクリル絵の具を使って思いのままに心の様を描き出します。芸術性を磨き、美しいものを完成させることを共有。二人の感性はワインにも物語を語らせます。

アーティスト：
Lisa Ledson/
リサ・レドソン

ナパ在住の抽象画家。エネルギーに満ちた自己表現、感情的、精神的な世界の探求からインスピレーションを得ています。幼い頃から視覚芸術と舞台芸術の両方に触れ、バレエで鍛えられた彼女にとって、描かれる動きは、身体の本質的な表現からもたらされます。彼女の作品に触発された人々の人生を刺激し、向上させるという信念を持っている。

輸入・販売　株式会社中川ワイン TEL:03-5829-8161